

# 神戸らしい夜間景観の形成に向けて

## ～夜間景観形成基本計画の作成～

神戸の都市景観を構成する中で、夜間景観は重要な要素のひとつです。夜の都市景観には、昼のそれとはまた違った都市の魅力を見出すことができます。

都市の夜間景観の充実を考えると、安全で安心して暮らせる照明環境を整える一方、景観照明など光の演出による都市魅力の創出も重要です。

そのため、神戸市では「夜間景観形成基本計画」を策定し、それに基づき、安全で魅力溢れた神戸らしい夜間景観を形成していきます。

具体的には、夜間景観形成の目標を、1. 神戸らしい都市魅力の創造、2. 安心して暮らせる快適で安全なまちの創造、3. 環境にやさしいひかりのまちの創造と置き、3本柱で進めてまいりたいと考えています。

神戸市では、来年、2001年(1月17日～9月30日)に、復興のお披露目と感謝の気持ちをこめて、

「神戸21世紀・復興記念事業」の実施を予定しております。これは、「花」と「ひかり」をシンボル事業

として、新しい神戸のイメージを創出し、今後のまちづくりにつなげていこうとするものです。

このうち「ひかりの事業」につきましては、良好な夜間景観の観点から、この基本計画をもとに実施したいと考えています。

これまでの取り組みを生かし、神戸らしい夜間景観の形成を目指して、より一層魅力と個性のあるまちづくりに取り組んでまいりたいと思っておりますので、市民の皆様方の一層のご協力をよろしくお願いいたします。

(都市計画局アーバンデザイン室)



# シューズプラザとアジアギャザリー オープン

7月20日(木)JR 新長田駅北地域において、同時に開設されました

細田・神楽まちづくり協議会は、一貫して住民の一日も早い再建と一体となって期待が持てるまち、住みよい活力のあるまち、安心・安全で人に優しく、企業と共存できるまちづくりに取り組んできました。

当地区は住・工・商が混在し、震災の被害が大きかっただけに、出来る限りの知恵と住民の総意を結集し、新しい新長田を築くという使命を負って協議会活動を行ってきました。

まちづくり提案として地区計画を変更し、建ぺい率・容積率を上げ、共同建替・業務・住工共存・小規模作業場・産業・公園・コミュニティ道路等用途別に地区内を区分した結果、ほとんどの方が移動することになります。

これも10.8haという広い地域であるのと新長田の再生を考えた時、このままではいけないと言う住民の危機感そして今なら出来るという期待感が交差し、激論を重ねた結果の提案です。

既にも実現したものもある中で、今回は「シューズプラザ」と「アジアギャザリー神戸」といった地場産業、そして地域の活性化の起爆剤として期待している二つの施設を紹介します。



シューズプラザの外観

## ① シューズプラザ

神戸を代表する産業の一つであるケミカルシューズ産業の震災からの復興と新たな展開を目指すと共に新長田周辺地域の活性化を図る「くつのまちながた構想」の拠点となる施設で、ここに来れば、まちの空気も感じながら、直接長田の靴の魅力にふれられるようになっています。

1・2階は最新の靴のメーカー直販ショップコーナー・手作り靴・鞆等、3階はインキュベーション施設としてシューズデザイナー等が活躍し、メーカーと一体となって神戸ブランドの発信を行っています。

4階にある神戸アジア交流プラザは、アジアに関する情報の収集・提供・文化の展示紹介・さまざまな講座やイベントの開催、神戸を訪れる外国人の支援を行います。また、まちづくり相談所も設けられています。



シューズプラザの内部

## ② アジアギャザリー神戸 (3階建て15店舗)

アジアとの共生をテーマにした商業施設で、ベトナム・韓国・中国等アジアの雑貨や民族衣装を扱う店の他、喫茶コーナーや陶芸・染色等を展示するギャラリーが設けられています。

「ギャザリー」は、ギャラリーとバザールとを掛け合わせて命名しました。



アジアギャザリーの外観

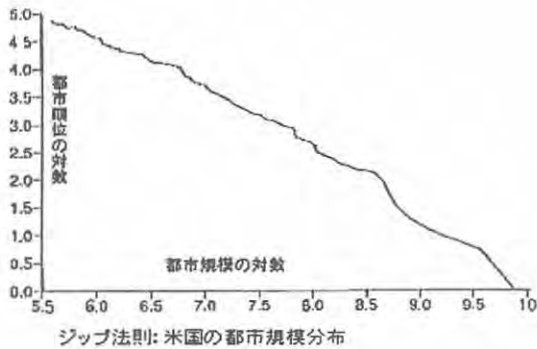
誰もが気軽に立ち寄れる場所になってほしいと思います。

細田・神楽まちづくり協議会  
会長 野村 勝

## 複雑系とまちづくり (5)

### ●不思議なジップ法則 (Zipf's Law)

サイモンの都市人口の研究によると、米国の都市人口規模と都市人口順位には相関関係があって、それらの対数をとってグラフ表示すると、ほぼ傾き-1の線型となることが指摘された。人口100万人以上の都市が40あり、うち200万人以上の都市が20、400万人



以上の都市が9といった相関である。

この、不思議な相関は、全世界レベルでも当てはまる。サンタフェ研究所でも「Transient Dynamics and Scaling Phenomena in Urban Growth」という論文の中で、人口群どうしに働く遠心力と求心力を設定することにより都市が自己組織化するようなシミュレーションを行い、良い近似結果を得ている。

筆者も、日本の都市で調べてみたら、人口150万人以上が5都市、75万人以上が14、37.5万人以上が44、18.75万人以上が112と、およそ人口が半分になれば都市数は3倍になるという結果を得た。対数線型(対数をとってグラフ化すると直線になる)である。

ただし、前述の各研究が、自然発生的な都市圏人口についてであるのに比べると、筆者の場合は法律上の行政界で区切られた都市について検証しただけなので、信憑性は低い？

しかしこれは不思議な現象である、どの国でも都市の規模と順位について、あらかじめ決めてくれているわけではない。ここでも複雑系のメカニズムが働いていることは疑いがない。自己組織化という非線型の過程から、線型の結果が生み出されたことは非常に興味深い。

試しに、この論によって、神戸市(6位)の人口規模は、1~5位の都市規模と7位以下の都市規模を対数線型補完して求めると、160万人強である。

全国人口増加率は、現時点で0.2~0.3%であり、2007年にピークアウトすることを考えれば、震災が無かったとしても、将来的に神戸市人口が160万人を大きく

超える可能性は低いのではなかろうか。

### ●べき乗則

MITのクルーグマンによれば、ジップ法則のような、一般的に「べき乗則」と呼ばれる法則は、自然界の至る所に見られるという。陶器を叩き割るとランダムに砕けて無数の破片になるが、0.1g以上の破片数は10個、0.01g以上の破片数は100個、0.001g以上の破片数1000個…というような、べき乗則に従っている。

地震を経験した我々にとって興味を引くものに、グーテンベルク=リッター法則というものがある。これは「地震の規模と頻度の間には対数線型の相関がある(例えば、一定期間内でM7級地震は1回、M6は10回、M5は100回という関係)」という経験則であって、サンタフェ研究所で地震を研究しているパークは、地殻に働くストレスが自律的に成長して、臨界に達して地震が起きるような「自己組織化臨界モデル」によって、グーテンベルク=リッター法則を説明している。

分野を問わず、複雑な現象は、なにか共通なふるまいをするのである。

先ほどのクルーグマンは、本職は都市経済学者であり、都市の成長モデルの研究などが専門である。彼の作った12地域を含む経済地理モデルでは、円周上に企業をランダムに配置したり、等間隔に配置した初期状態から出発するパブリックシミュレーションが、常に同じくらいの規模の2つか3つの都市の中心地を生み出す結果となる。つまり初期値で企業を計画的に配置しても、その後の自己組織化で集積状態は変わってしまう。クルーグマン曰く「はじめは無秩序な系であっても、系の不安定性や系のランダムな成長を経て(奇妙なことに)高度に規則性のある空間構造を生み出す」

### ●都市計画の意味

都市の秩序や構造は自己組織化や自己組織化臨界といった過程を経て創発することを踏まえ、マスタープラン→都市計画→軸線計画・中心地計画といった、基本構想に基づくトップダウン計画による方法論と、自己組織化等による実態論の拮抗が問題となってくる。

つまり、商業中心地など、本来自己組織化の問題であるものを、計画誘導がどこまで有効にはたらくのか？ また、都市の容量・成長管理という考え方についても、これに自己組織化臨界という考え方も加えていく必要があるだろう。けだし難問である。

次回でこの連載も自己組織化臨界に達します。

森田 拓也(市民局市民活動支援課主査)

新着図書のご案内

名称	著者名	発行元	発行年月
日本のNPO 2000	中村 陽一 日本NPOセンター	日本評論社	99年10月
市民生活とまちづくり	林 泰義 伊藤 滋	ぎょうせい	00年5月
「まちづくり」の経済学	三井物産業務部 「ニューふあーむ 21」チーム	東洋経済新報社	00年3月
神戸市震災復興総括・検証報告書	震災復興総括・検証研究会	神戸市震災復興総括局	00年3月
分権社会を創る⑩ 分権社会と教育行政～教育委員会・学校・地域～	西尾 勝 小川 正人	ぎょうせい	00年6月
市街地復興の理論と実践	神戸都市問題研究所	神戸都市問題研究所	00年3月
21世紀へのまちづくり	関西道路研究会	-	00年3月
都市はどこへ行く	五十嵐 敬喜	建築資料研究所	00年5月
都市に自然を取り戻す	宇田 好史 あおぞら財団 他	学芸出版社	00年4月

当センターにふさわしい  
図書・資料をご紹介くださ  
い。担当、橋本まで

こうべまちづくりセンター図書室  
まちづくり会館4階・TEL 361-4523  
開館時間 午前10時～午後6時  
休館日 水曜日・年末年始



## まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
8月31日(木)～9月5日(火)	ART '81展(油彩)	ART '81協会
9月7日(木)～12日(火)	朝日カルチャー神戸増井教室(油彩)	乾 登美子
9月14日(木)～19日(火)	葦の会展(油彩)	葦の会
9月21日(木)～26日(火)	第23回兵庫倶楽部写真友会写真展	兵庫倶楽部写真友会
9月28日(木)～10月3日(火)	2000年神戸芸術学林絵画展 (油彩・水彩等)	神戸芸術学林

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

9月1日(金)～30日(土)	2002年FIFAワールドカップサッカー — 神戸開催展 —	教育委員会事務局 ワールドカップ推進室
9月10日(日) 午後2時・4時	パチュニアサロンコンサート	元町4丁目商店街・アスク音楽院 こうべまちづくりセンター

図書販売のお知らせ

コンパクトシティ・持続可能な都市形態を求めて 協働のまちづくり・すまいづくり	¥3,000	別途送料を申し受けます。 申し込みは、当センターまで
—震災復興土地区画整理における協働建替の記録—	¥1,500	

「あーばんとーく」では、これからも皆様に親しまれるニュースを提供したいと考えております。  
読者の皆様からのご意見、まちづくりに関する耳寄りな情報、まちの話題等の投稿をお待ちしています。